

マイホームのお手入れ

トイレ

●床

トイレの床は防水処理がされていないので、水洗いは絶対に避けましょう。
週に一度は、クレゾールを数滴落とした水に雑巾を浸し、固く絞って拭くようにしましょう。

●便器

トイレ用洗剤をつけた布やスポンジでこすり、水拭きを十分にしてください。
なかなか落ちない汚れは、夜のうちや外出前に洗剤をかけておくと、浸透して作用も高まり、良く落ちます。
クレンザーは、便器を傷めますので使わないようにします。

●金具類

パイプやハンドルは水滴がついて、さびやすくなりますので、柔らかい布で水分を拭き取るように心掛けましょう。
月に一回程度、液体ワックスで拭くと、さび予防になります。

●トイレのニオイ消し

ニオイ消しには市販の防臭剤もありますが、夏みかん、レモン、ネーブルなどのかんきつ類やりんごをちょっと角に置くだけで、さわやかな香りがして脱臭効果があります。

◎最近のトイレは、お掃除がしやすくなっています。

取替をご希望の方は、お気軽にご相談下さい。

白さ・輝きが100年※1つづく

簡単な掃除で新品の白さ、輝きが続く「アクアセラミック」。
リング状の黒ずみや、便器のくすみの原因となる水アカが付きにくい※2リクシルならではの素材です。また、便器についての汚物よごれも、トイレを洗浄するだけでツルンっと落ちます。※3

※1 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合。
お掃除ブラシで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。

※2 定期的にお掃除しない場合、汚れが付着する場合があります。

※3 付着した汚物よごれによっては、お掃除が必要な場合があります。



工事だより

T様邸新築工事

完成了しました！



リビングにピアノを置くスペースを設けました。

娘さんたちの部屋のクローゼットの壁はドット柄でかわいいです。



納戸や洗面所に棚を付け、たくさんの物を置けるようにしました。
キッチンの反対側も収納できるようになっています。



娘さんの
部屋の下に
収納
スペースを
とりました。

暑い夏が過ぎ、寒い冬がやってきます。今年の冬は「カーテン」を取り替えて寒い冬を暖かく過ごしましょう。

カーテンでできる省エネ対策

～サンゲツホームページより～

遮熱性・保温性を高めるカーテン選び

ひとくちに「カーテン」といっても、素材や厚みなど種類はさまざま、その吊り方によっても省エネ効果が変わります。ドレープ（厚地）カーテンは、厚手でしっかりと目が詰まった織りの生地ほど、遮熱性・保温性があり、省エネ効果が高くなります。

またレースカーテンでも遮熱性のあるものがあり、夏場のエアコンの効きをよくしたり、冬場でも暖房の熱を逃がしにくくする効果が期待できます。

■カーテンの省エネ効果を高める3つのポイント

①カーテンは窓枠よりも広く覆うように吊る

窓にカーテンを吊るとき、窓枠にぴったり合わせた大きさのカーテンを選んでいませんか。

実は、窓ガラスの部分だけを覆うより、天井近くから床まで垂らす方がより効果的です。窓枠と同じ大きさのカーテンの場合、カーテンと窓の隙間から外気の熱が入りやすくなり、せっかくの遮熱効果が半減してしまいます。

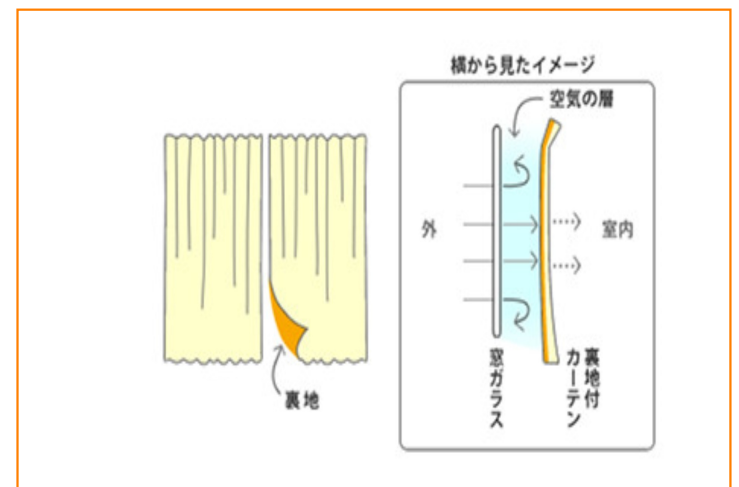
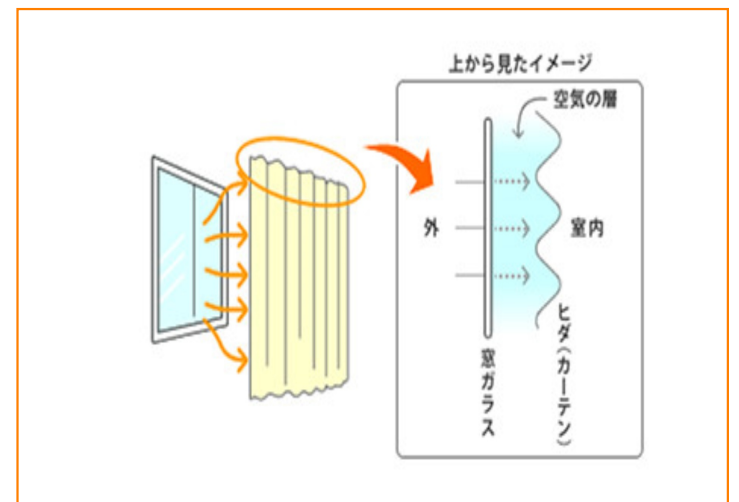
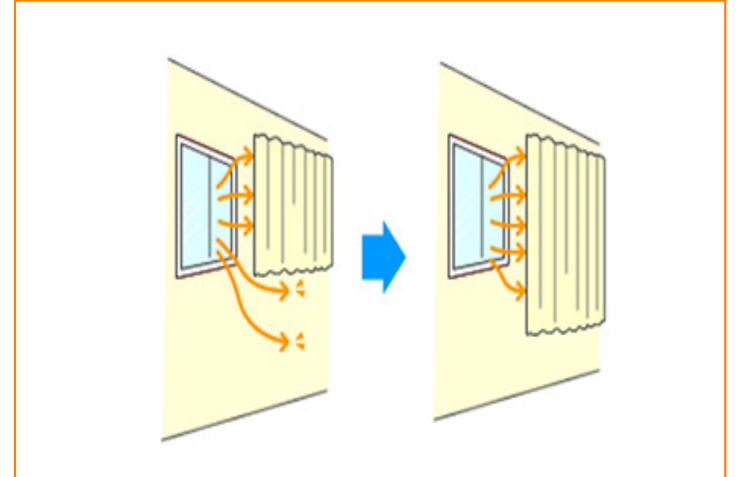
②カーテンのヒダはたっぷりと

カーテンのヒダをたっぷりととることで、窓ガラスとカーテンの間に空気の層ができます。

この空気の層が断熱材の役割を果たし、より遮熱性を高めてくれます。また、見た目にも美しく優雅な印象を与えます。

③裏地使いや二重吊りでパワーアップ

ドレープ（厚地）カーテンには、「裏地」がついているものがあります。この裏地は、遮熱性を高めてくれるだけでなく遮光効果もあります。デザイン性のあるドレープカーテンに裏地を付けることで機能性を兼ね備えた万能カーテンに早変わり。さらにドレープとレースの二重吊りにすれば、省エネ効果がより一層パワーアップすることはいまでもありません。



来年の夏に向けて、遮熱対策におすすめのレースカーテンもあります。

●遮熱レースー室内の温度上昇を抑えるお役立ちレース

遮熱効果を持つ繊維や、ミラー効果のある光沢糸を使用した遮熱レースは、太陽の熱を反射して室内温度の上昇を抑える効果があります。

●ミラー調レースープライバシー保護と省エネ対策に

「外からの光は取り入れたいけれど、室内が見えないようにしたい」と言うときに効果的なのがミラー調レースです。

明日もきっとHEALTHY LIFE ～第54号～

10月10日



目の愛護デー

目の愛護デーは 60 年以上の歴史があります。はじまりは 1936 (昭和 6) 年に失明予防の運動として 10 月 10 日を「視力保存デー」と定めたのがきっかけです。目の愛護デーをきっかけに目を大切にすることについて考えてみましょう。



★年に一度は眼科へ

2大失明原因である緑内障と糖尿病性網膜症は、初期には自覚症状が全くありません。あなたの目の健康を守るため、年に1度は眼科を受診しましょう。